

ドクターに聞きました

# 夏に注意 皮膚の病気

## Q これからの季節の皮膚トラブルとは？

今の季節に多く、高齢者の方に注意して頂きたい皮膚の病気が二つあります。一つ目は帯状疱疹です。

帯状疱疹は水痘（みずぼうそう）と同じウイルスが原因で発症しますが、水痘にかかった後、脊髄後根神経節に潜伏感染しているウイルスが、加齢などの免疫力の低下により再活性化して発症します。片側の皮膚の神経分布領域に沿って帯状に皮疹があらわれ、強い痛みを伴う場合が多いです。

統計によると、冬に比べて夏に少し多いんです。疲れが出るから、免疫力が落ちるから、かもしれない。幼虫によるものが多いです。チャドクガは、さざんかや椿に沢山います。

## 突然発症してしまう 毛虫皮膚炎

毛虫皮膚炎は、毛虫の毛に触れる事によって発症するのですが、長い、目に見える毛には、触つても何ともないんです。毒針毛という、拡大して見ると針みたいになっているのですが、0.1mmしかない、肉眼では見えないものが、毛虫皮膚炎の原因になります。ですから毛

せんね。また、冬に水痘が流行しやすい事が関係あるのではないとも言われています。

## 帯状疱疹の患者が増えています。

帯状疱疹は、昔は一生に1回なる確率が7〜8人に1人とされていました。今は、80歳までになる確率が3人に1人と変わってきています。水痘のワクチンは、昔は任意でしたが、今はほとんどの人が接種するようになり、2年前から無料で受ける事ができるようになったため、水痘にならないか、なつても軽くて済むようになりました。その結果、水痘患者からウイルスに暴露する機会が少なく

虫皮膚炎の約7割の方は、毛虫に触れた記憶もないし、見てもいないのに、突然発症ができましたとおっしゃいます。

終齢幼虫には、この毒針毛は1匹に30万本〜50万本と、ものすごい数があつて、葉っぱにも沢山残っています。その毒針毛が皮膚に付く、正確に言うところ刺さつて、発症ができます。半日くらいしてから少しずつ始めて、2日、3日後にひどくなります。まんべんなくできるのではなくて、ある一定の所に集中

なつて、追加免疫が落ちてきたからではないかと言われています。

## Q 予防法はありますか？

今、話題になつて居るのは帯状疱疹のワクチンを打つ事です。水痘のワクチンと全く同じですが、今年の3月に国が認可しました。

ワクチンを打つと、まず帯状疱疹になる確率が2分の1に下がります。また、帯状疱疹は、皮疹が治つても痛みが残る人がいるんです。帯状疱疹後神経痛といつて、その痛みは焼けるような痛み、刺されるような痛み、と表現される事もあるほどです。50歳以上で帯状疱疹になつた方の2割が帯状疱疹後神経痛になつて、しかも年齢が上がれば

して小さな発疹が、たくさんできます。痒みもちろんあります。

## Q 症状が出た場合は？

やはり、皮膚科に行かれた方がいいでしょうね。庭仕事や剪定作業、清掃作業などをされた方は要注意です。ひどくなつてから来られる方がたまにいらつしゃいますが、早目に治療すれば軽症で済みます。塗り薬と、痒み止めの飲み薬で、人にもよりますが1週間〜2週間で治ります。

上がるほどその確率は高くなりま。この帯状疱疹後神経痛になる確率が、ワクチンを打つ事によって3分の1くらいに減らす事ができます。ワクチンは当院でも接種できますので、お気軽にご相談下さい。

## Q 2つ目の注意が必要な病気は？

もう一つ、今の季節に多くて、高齢者の方には限りませんが、注意して頂きたいのは、毛虫皮膚炎です。多い時は1日に10人くらいの患者さんが来られます。

毛虫は、蛾の幼虫ですね。蛾にも色々種類がありますが、主に、毛に触れる毒針毛型というのが圧倒的に多く、中でも、チャドクガの

痒いので、どうしても掻いたり、たいたりしてしまう方が多いと思います。冷やす事が大事です。冷やすと一時的に痒みがおさまります。毛虫の多い時期は1年に2回あつて、6〜7月と8〜9月です。注意されて下さい。

## 医療法人 ますゆき皮膚科クリニック



音楽の流れる明るい雰囲気  
のクリニックです。

### 所在地

〒802-0974  
北九州市小倉南区徳力3-9-2 N&Y 徳力ビル2F

### アクセス

北九州モノレール「徳力公園前」徒歩2分  
西鉄バス「志井入口」徒歩1分  
駐車場 13台

### 診療受付

月・火・水・金 9:00~12:30 14:30~18:30  
木 9:00~12:30 午後休診  
土 9:00~12:30 14:00~16:00

### 休診日

日曜・祝祭日

### 診療内容

あらゆる皮膚の異常に対処いたします。

#### ■ 一般皮膚科

アトピー性皮膚炎・かぶれ・手あれなどの湿疹・皮膚炎、じんましん、たごうおの目、いぼ、日焼け、あせも、しもやけ、脱毛症、ふけ症、乾癬、水疱症、膠原病や内臓疾患にともなう皮膚病変、水虫、とびひ、帯状疱疹、にきび、おでき、虫さされ、皮膚のかさかさ、皮膚の外傷など

#### ■ 皮膚外科

転んだ際などの皮膚の縫合、ほくろ・脂肪のかたまりなどの皮膚腫瘍の切除、まき爪の手術、など

#### ■ その他

- ・ピアスの穴あけ
- ・ナローバンド UVB による光線治療 (乾癬、白斑、掌蹠膿疱症、アトピー性皮膚炎などの難治性皮膚疾患に効果的です)
- ・男性型脱毛症に対する内服治療
- ・予防接種 (インフルエンザ・帯状疱疹)

### ■ お問い合わせ

ますゆき皮膚科クリニック  
TEL 093-965-4112



医療法人  
ますゆき皮膚科クリニック  
益雪 浩一 院長

平成2年 産業医科大学 医学部卒業  
平成16年 開院  
ますゆき皮膚科クリニック 院長  
北九州市皮膚科医会理事  
北九州皮膚アレルギー研究会理事  
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医  
趣味はプロ野球観戦 ゴルフ